

出願の際、「対面式」「非対面式」のどちらかを選択してください。「非対面式」受験の詳細については、7月中旬に本学ホームページで発表します。

器楽専攻目次(下線部をクリックするとリンク先に飛びます)

1. 鍵盤楽器

入学試験科目 1

◇課題曲

■ ピアノ 2

■ ピアノ演奏家コース 2

■ ピアノ・創作コース 3

■ チェンバロ 3

■ オルガン 4

2. 弦・管打楽器

入学試験科目 5

◇課題曲 弦楽器

■ ヴァイオリン 6

■ ヴィオラ 7

■ チェロ 7

■ コントラバス 8

■ ハープ 8

■ クラシックギター 8

◇課題曲 木管楽器

■ フルート 9

■ オーボエ 9

■ クラリネット 10

■ ファゴット 10

■ サクソフォーン 10

◇課題曲 金管楽器

■ ホルン 11

■ トランペット 11

■ トロンボーン 12

■ バス・トロンボーン 12

■ チューバ 12

■ ユーフォニアム 12

◇課題曲 打楽器

■ ティンパニ 13

■ 小太鼓 13

■ マリンバ 13

② 器楽専攻

鍵盤楽器

入学試験科目

1. 外国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語より1科目選択）

(1) 一般選抜（A日程）は、大学入学共通テストの成績を利用する。出願者は大学入学共通テストの「外国語」を必ず受験すること。「英語」は筆記とリスニングの双方を課す。

※上記に代わるものとして、以下のいずれかの資格を利用できる。

詳細は①一般選抜概要 p. ii を参照のこと。

- ・ケンブリッジ英語検定
- ・実用英語技能検定
- ・GTEC(アセスメント版を除く)
- ・IELTS(Academic)
- ・TEAP
- ・TEAP CBT
- ・TOEFL iBT®

(2) 一般選抜（B日程）は、調査書の評定を利用する（大学入学共通テストは利用しない）。

2. 楽典

3. 新曲視唱 8小節程度の旋律を1曲

別室で1-2分間予見したのち、試験室においてピアノによる主和音、開始音を聞き、無伴奏で視唱する。

4. 聴音：旋律聴音（8小節程度）・・・ 各専攻共通1題および専攻別1題

和声聴音 ・・・・・・・・・・・・・・ 大譜表による四声（密集）、8小節程度

[問題例] G dur ト長調 $\frac{2}{2}$ 拍子 8小節



5. 副科実技（ピアノ）※オルガン志願者のみ

J. S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲（プレリュードとフーガ）。暗譜で演奏すること。

6. 専攻実技

課題曲

■ピアノ

⇒ 暗譜で演奏すること。

次の a 課題または b 課題を選択すること。

a 課題

- (1) J. S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第 1 巻、第 2 巻より任意の 1 曲（プレリュードとフーガ）

※当日各自の抽選でプレリュードまたはフーガのどちらかの演奏になる場合がある。

- (2) 次の (イ) ~ (ホ) の練習曲集より任意の 2 曲（同一作曲家の組み合わせでなくても可）

(イ) モシュコフスキー Op. 72

(ロ) クレメンティ

(ハ) チェルニー Op. 740 (50 番練習曲)

(ニ) モシェレス

(ホ) ショパン Op. 10、Op. 25 (Op. 10 No. 6、Op. 25 No. 7 を除く)

- (3) 自由曲 (5 分以上 8 分程度。複数曲可)

省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

b 課題

自由曲 (12 分以上 17 分程度。1 曲または複数曲の組み合わせでもよい。楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること)

省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

■ピアノ演奏家コース

⇒ 暗譜で演奏すること。

次の a 課題または b 課題を選択すること。

a 課題

- (1) J. S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第 1 巻、第 2 巻より任意の 1 曲（プレリュードとフーガ）

※当日各自の抽選でプレリュードまたはフーガのどちらかの演奏になる場合がある。

- (2) ショパン『練習曲集』Op. 10、Op. 25 より任意の 2 曲 (Op. 10 No. 6、Op. 25 No. 7 を除く)

- (3) 次の①または②を選択すること。

- ① 次の (イ) ~ (ト) の練習曲集より任意の 1 曲

(イ) リスト

(ロ) ドビュッシー

(ハ) スクリャービン Op. 8、Op. 42、Op. 65

(ニ) ラフマニノフ Op. 33、Op. 39

(ホ) プロコフィエフ Op. 2

(ヘ) バルトーク Op. 18

(ト) リゲティ

- ② ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのソナタの中から、任意の 1 楽章

- (4) 自由曲（12分以上15分程度。複数曲を演奏する場合は、楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること）

省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

b 課題

自由曲（25分以上30分程度。1曲または複数曲の組み合わせでもよい。楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること）

省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

※器楽専攻（ピアノ演奏家コース）の受験結果により、器楽専攻（ピアノ）に合格となる場合がある。

■ピアノ・創作コース

- (1) ピアノ実技 次の a 課題または b 課題を選択すること。

⇒ 暗譜で演奏すること。

a 課題

- ① J. S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲を選択し、プレリュードまたはフーガのどちらかを演奏する。
- ② 次の(イ)～(ホ)の練習曲集より任意の1曲
 - (イ) モシュコフスキー Op. 72
 - (ロ) クレメンティ
 - (ハ) チェルニー Op. 740 (50番練習曲)
 - (ニ) モシェレス
 - (ホ) ショパン Op. 10、Op. 25 (Op. 10 No. 6、Op. 25 No. 7を除く)

- ③ 自由曲（5分以上8分程度。複数曲可）

省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

b 課題

自由曲（12分以上17分程度。1曲または複数曲の組み合わせでもよい。楽章や曲目ごとの演奏時間を専攻別曲目記入票に明記すること）

省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

- (2) 創作

自作の楽譜を1曲、出願書類と共に提出すること。編成および曲の長さは自由とする。

例：ピアノ独奏曲、電子オルガンを含むアンサンブル作品等

■チェンバロ

- (1) J. S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』（第1巻、第2巻）から、任意のプレリュードとフーガを1曲

- (2) D. スカルラッティの任意のソナタを1曲

- (3) 通奏低音

『クラヴィス』（現代ギター社刊）の p. 80-84 の練習 1~10 のうちから、当日指定されたものを、右手用のガイドなしで演奏する。

※いずれも暗譜の必要なし。

※楽器はフレンチ・モデル二段鍵盤チェンバロ（音域 FF~f3、8' 8"4、a1=415）

■オルガン

- (1) J. S. バッハ『オルガン小曲集』(Orgelbüchlein BWV 599-644) から任意の 5 曲
- (2) 任意のオルガン曲 1 曲 (コラール編曲以外の作品とする)

※暗譜の必要なし。

※アシスタントの要、不要を専攻別曲目記入票に記入すること。

※試験日以前に、レジストレーションのための若干の練習時間を与える。

弦・管打楽器

入学試験科目

1. 一般選抜 (A 日程) は、外国語 (英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語より 1 科目選択)

(1) 大学入学共通テストの成績を利用する。出願者は大学入学共通テストの「外国語」を必ず受験すること。

「英語」は筆記とリスニングの双方を課す。

※上記に代わるものとして、以下のいずれかの資格を利用できる。

詳細は①一般選抜概要 p. ii を参照のこと。

- ・ケンブリッジ英語検定
- ・実用英語技能検定
- ・GTEC (アセスメント版を除く)
- ・IELTS (Academic)
- ・TEAP
- ・TEAP CBT
- ・TOEFL iBT®

(2) 一般選抜 (B 日程) は、調査書の評定を利用する (大学入学共通テストは利用しない)。

2. 楽典

3. 新曲視唱 8 小節程度の旋律を 1 曲

別室で 1-2 分間予見したのち、試験室においてピアノによる主和音、開始音を聞き、無伴奏で視唱する。

4. 聴音 旋律聴音 (8 小節程度) 各専攻共通 1 題および専攻別 1 題

和音聴音 高音部譜表による三和音、4 小節程度

[問題例] a moll イ短調 $\frac{2}{2}$ 拍子 4 小節



5. 副科実技 (ピアノ)

自由曲：ソナチネ、ソナタ・アルバム程度の曲目を 1 曲または 1 楽章

※抜粋の場合は、専攻別曲目記入票に楽章等を明記すること。

※暗譜で演奏すること。

6. 専攻実技

課題曲

弦楽器

■ヴァイオリン

(1) 音階および分散和音

Carl Flesch: Scale system (C. フレッシュ『スケール・システム』)より、任意の長調または短調を選び、第5、6、7、8番を演奏する。運指の指定なし。

- ① 第5番は冒頭から12小節目までを演奏する。 $\text{♩}=60$ 以上(スラーは下記のC-durに準ずる)
- ② 第6、7、8番は各々冒頭から4小節目までを、速やかに続けて演奏する。 $\text{♩}=60$ 以上(スラーは16分音符4個以上とする。1小節2弓でも可。下記の第6番参照)

第5番 $\text{♩}=60$ 以上



第6番 $\text{♩}=60$ 以上



(2) 練習曲

P. Rode、J. Dont (Op. 35)、N. Paganini の練習曲、カプリスより任意の1曲

(3) 任意の協奏曲より第1楽章(カデンツァを含む)

※いずれの課題も暗譜で演奏すること。

※(3)の伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出すること(出版譜に限る)。

※演奏によりヴィオラに適性ありと認め得る受験者は、ヴィオラで合格となる場合がある。

■ヴィオラ

(1) 音階および分散和音

Carl Flesch : Scale system より、任意の長調または短調を選び、第 5、6、7、8 番を演奏する。運指、運弓の指定なし。

- ① 第 5 番は冒頭から 12 小節目までを演奏する。 $\text{♩}=60$ 以上（スラーとリズムは p. 6 の譜例に準ずる）
- ② 第 6、7、8 番は各々冒頭から 4 小節目までを、速やかに続けて演奏する。 $\text{♩}=60$ 以上（スラーは 16 分音符 4 個以上とする）

(2) B. Campagnoli : 41 Caprices (B. カンパニョーリ『41 のカプリース』) から任意の 1 曲、または同程度もしくはそれ以上の難易度の任意の 1 曲

(3) 次の (イ) ~ (ニ) より任意の 1 曲

- (イ) Johann Christian Bach : 協奏曲ハ短調より 第 2 楽章、第 3 楽章（カデンツァを含む）
- (ロ) Carl Stamitz : ヴィオラ協奏曲ニ長調作品 1 より 第 1 楽章（カデンツァを含む）
- (ハ) Franz Hoffmeister : ヴィオラ協奏曲ニ長調 より 第 1 楽章（カデンツァを含む）
- (ニ) 上記の (イ) ~ (ハ) と同程度もしくはそれ以上の曲から 1 曲（出版社の指定なし）

※いずれの課題も暗譜で演奏すること。

※ (3) の伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出すること（出版譜に限る）。

※ヴァイオリンによる受験可。出願書類の志望欄にヴィオラと記入し、ヴァイオリンの課題で受験すること。

■チェロ

(1) 音階

任意の長調、短調を 4 オクターヴ（4 音を 1 弓で演奏すること）

(2) 練習曲

次の (イ) ~ (ハ) より任意の 1 曲

- (イ) D. Popper : Hohe Schule des Violoncellspiels, Op. 73（ポツパー : 40 の練習曲）
- (ロ) J. L. Duport : 21 études（デュポール : 21 の練習曲）
- (ハ) A. Schroeder : 170 foundation studies for violoncello, 2（シュレーダー : 170 の基礎練習第 2 巻）

(3) 任意のチェロ協奏曲より第 1 楽章または最終楽章

※いずれの課題も暗譜で演奏すること。

※ (3) の伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出すること（出版譜に限る）。

■コントラバス

(1) 音階および分散和音

次の楽譜を演奏すること。運指の指定なし。



(2) 下記のいずれかを選択すること。

- (イ) 任意のソナタより第1楽章と第2楽章
- (ロ) 任意の協奏曲より第1楽章または最終楽章

※オーケストラチューニング、暗譜で演奏すること。

※(2)の伴奏者は大学が用意する。伴奏譜を出願書類と共に提出すること(出版譜に限る)。

■ハープ

(1) F. J. Naderman : 7 Sonates progressives, Op. 92 より任意の第1楽章

(2) 自由曲 (J. L. Dussek のソナタまたは同程度の難易度の作品) 1曲

※暗譜で演奏すること。伴奏なし。

■クラシックギター

(1) F. Sor または H. Villa-Lobos の練習曲より任意の1曲

(2) 自由曲1曲

※暗譜で演奏すること。伴奏なし。

課題曲

木管楽器

■フルート

(1) 音階および分散和音

M. Moÿse : Exercices journaliers pour la flûte (M. モイーズ『フルートのための日課練習』) より 長音階 (A)、短音階 (B)、分散三和音 (C) を演奏する。

演奏箇所は、12月10日(金)、本学ホームページ上で指定する。♩ = 60 (譜例参照)

A, B譜例

C譜例

(2) J. Andersen : 24 Studies for flute, Op. 21 (J. アンデルセン『24のエチュード 作品21』) より No. 9, No. 22

(3) W. A. Mozart : フルード協奏曲 第1番 ト長調 K. 313 より第1楽章 (カデンツァは含まない)

※いずれも版の指定なし。暗譜の必要なし。

※「対面式」受験者の(3)の伴奏者は大学が用意する(楽譜の提出不要)。前奏はSoloの4小節前より始める。

■オーボエ

(1) 音階

次のA、Bいずれかの音型によって長音階と短音階を演奏すること。調性、スラー等は12月10日(金)、本学ホームページ上で指定する。暗譜。

A例

B例

(2) F. W. Ferling : 48 Etudes, Op. 31 (F. W. フェルリンク『48のエチュード』) Nos. 5-10の中から、12月10日(金)、本学ホームページ上で指定する。

※(2)は版の指定なし。暗譜の必要なし。

■クラリネット

(1) 音階

R. Eichler : Scales for Clarinet より各調の1番をスラーで演奏すること。調性は12月10日(金)、本学ホームページ上で指定する。暗譜。

(2) E. Cavallini : 30 Capricci (Ricordi)より Nos. 16, 19, 22 の3曲。演奏箇所は12月10日(金)、本学ホームページ上で指定する。

(3) 次の2曲のうちいずれかを演奏すること。

C. M. v. ウェーバー : クラリネット協奏曲 第1番 へ短調 作品73より

第1楽章(Baermannのカデンツァを含む)。前奏はSoloの10小節前より。

C. M. v. ウェーバー : クラリネット協奏曲 第2番 変ホ長調 作品74より

第1楽章。前奏はSoloの6小節前より。

※「対面式」受験者の伴奏者は大学で用意する(楽譜の提出不要)。

■ファゴット

(1) 音階

次の音型によって、長音階と和声的短音階を演奏すること。調性、スラー等は12月10日(金)、本学ホームページ上で指定する。暗譜。



(2) J. Weissenborn : Fifty Bassoon Studies, Op. 8. Vol. 2 のNos. 1-15 より、12月10日(金)、本学ホームページ上で2曲指定する。

(3) J. Weissenborn : Fifty Bassoon Studies, Op. 8. Vol. 2 のNos. 22-43 より任意の1曲

※ (2) (3) は暗譜の必要なし。

■サクソフォーン

⇒ アルト・サクソフォーンで演奏すること。

(1) 音階

次の音型によって、長音階と和声的短音階をスラーで演奏すること。調性は全調の中から、12月10日(金)、本学ホームページ上で指定する。暗譜。繰り返しなし。

音階譜例



(2) F. W. Ferling : 48 études pour tous les saxophones (F. W. フェルリンク『サクソフォンのための48の練習曲』[M. ミュールによる増補改訂版] (A. Leduc)) より任意の奇数番号1曲と任意の偶数番号1曲の計2曲を演奏すること。

(3) 自由曲1曲 (編曲作品可。抜粋の場合は、楽章等を専攻別曲目記入票に明記すること)

※ (2) (3) は暗譜の必要なし。

課題曲

金管楽器

共通課題 (音階および分散和音)

次の例にしたがって、長音階と短音階を暗譜で演奏すること。調性、音域は12月10日(金)、本学ホームページ上で指定する。



■ホルン

(1) 共通課題 (音階および分散和音)

調性、音域は12月10日(金)、本学ホームページ上で指定する。

(2) W. A. Mozart : ホルン協奏曲 第3番 変ホ長調 K. 447 より 第1楽章 (カデンツァなし)

※ (2) は暗譜の必要なし。「対面式」受験者の伴奏者は大学が用意する (伴奏譜の提出不要)。

前奏は Solo の4小節前より始め、それ以降のカットなし。

■トランペット

(1) 分散和音

以下の音型を実音 B-dur で開始し、順次 E-dur まで下がること。暗譜。



(2) 共通課題 (音階および分散和音)

調性、音域は12月10日(金)、本学ホームページ上で指定する。

(3) J. B. Arban : Fantaisie Brillante (華麗なる幻想曲) より主題と変奏曲 I、II、III
Arban's Complete Conservatory Method 所収

※ (3) は暗譜の必要なし。「対面式」受験者の伴奏者は大学が用意する (伴奏譜の提出不要)。
序奏なし。 [使用楽譜] J. B. アーバン『12の幻想曲とアリア』No. 3 (ISR Collection, 全音楽譜)

■トロンボーン

(1) 共通課題（音階および分散和音）

調性、音域は12月10日(金)、本学ホームページ上で指定する。

(2) J. Rochut : Melodious Etudes for Trombone. Book 1. Edited by Alan Raph (C. Fischer) より No. 8

(3) G. Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (G. コプラッシュ『60のエチュード(トロンボーン)』(全音楽譜))より No. 15、No. 40

※繰り返しなし。暗譜の必要なし。

■バス・トロンボーン

(1) 共通課題（音階および分散和音）

調性、音域は12月10日(金)、本学ホームページ上で指定する。

(2) O. Blume : 36 Studies for Trombone with F Attachment (C. Fischer) より Nos. 5、23、25

※暗譜の必要なし。

■テューバ

(1) 共通課題（音階および分散和音）

調性、音域は12月10日(金)、本学ホームページ上で指定する。

(2) G. Kopprasch : 60 Selected Studies (R. King Music) Nos. 12、14、16、20、22
M. Bordogni : 43 bel canto studies (R. King Music) Nos. 1、4、7、12、14
以上の中から、12月10日(金)、本学ホームページ上で指定する。「対面式」受験の演奏は途中でカットする場合がある。

(3) J. S. Bach : Air and Bourrée (Wm. J. Bell 編曲)

※暗譜の必要なし。伴奏なし。

■ユーフォニアム

(1) 共通課題（音階および分散和音）

調性、音域は12月10日(金)、本学ホームページ上で指定する。

(2) J. Rochut : Melodious Etudes for Trombone の Nos. 3、4、5 より、12月10日(金)、本学ホームページ上で指定する。

(3) J. B. Arban : Variations on a Song “Vois-tu la neige qui brille” (The Beautiful Snow) (「輝く雪」の歌による変奏曲) Arban's Complete Conservatory Method 所収

※ (2) (3) は暗譜の必要なし。版の指定なし。

※ (3) の「対面式」受験者の伴奏者は大学が用意する（伴奏譜の提出不要）。前奏なし。

〔使用楽譜〕 J. B. アーバン『12の幻想曲とアリア』 No. 5 (ISR Collection, 全音楽譜)

課題曲

打楽器

ティンパニ、小太鼓、マリンバのいずれかの課題で受験すること。

■ティンパニ

- (1) ロール $pp \longleftarrow ff \longrightarrow pp$ Es(変ホ) (30秒以上)
- (2) R. Hochrainer : Etüden für Timpani. Heft 1 (Doblinger) の Nos. 19、26、39、40、43、44 より、12月10日(金)、本学ホームページ上で指定する。
- (3) 小太鼓による2つ打ち (響き線ありで演奏すること。楽器は各自持参のこと)
- (4) マリンバによる2オクターヴの長音階と短音階。調性は12月10日(金)、本学ホームページ上で指定する。音型は自由。但し、長音階は繰り返しあり、短音階は和声的短音階と旋律的短音階を演奏する。

■小太鼓

- (1) 2つ打ち、ロール $pp \longleftarrow ff \longrightarrow pp$ (30秒以上) (響き線ありで演奏すること)
- (2) A. J. Cirone : Portraits in Rhythm の Nos. 1、4、12、13、31 より、12月10日(金)、本学ホームページ上で指定する。
- (3) マリンバによる2オクターヴの長音階と短音階。調性は12月10日(金)、本学ホームページ上で指定する。音型は自由。但し、長音階は繰り返しあり、短音階は和声的短音階と旋律的短音階を演奏する。

■マリンバ

- (1) 3オクターヴの長音階、短音階、分散和音。調性は12月10日(金)、本学ホームページ上で指定する。音型は自由。但し、長音階は繰り返しあり、短音階は和声的短音階と旋律的短音階を演奏する。
- (2) M. Goldenberg : Modern School for Xylophone, Marimba, Vibraphone (Alfred Music) の 39 Etudes より XV (15番)。
- (3) 自由曲 (伴奏なし)
- (4) 小太鼓による2つ打ち (響き線ありで演奏すること。楽器は各自持参のこと)

* 新型コロナウイルス感染症拡大等の影響により「非対面式」での試験を実施するにあたり、2022年度入試では、本来必須としている「初見演奏」を課しません。